

高齢者需要拡大分野に進出

高齢者需要の拡大が期待できる分野に進出している企業

富山県富山市の朝日建設株式会社(従業員77名、資本金4,500万円)は、主に道路舗装工事等を手掛ける建設会社である。同社は、2003年に子会社を設立し、高齢者介護施設「あさひホーム」を開設した。施設を建築する際に、同社の林和夫社長が母親を9年間介護した経験を活かし、機械浴を廃したヒノキ風呂、採光のために障子紙を貼った居室の扉や廊下のトップライト、ショートステイ及びグループホームともに9畳の個室、24時間全館暖房の効いたヒノキの床等、細部にこだわった。もちろん、介護の専門家のアドバイスを参考に、入浴介助しやすい浴室・浴槽、床段差の解消、お年寄りの体型に合った高さの椅子やテーブル、介助しやすい車椅子用トイレ等、介護者に求められる機能の充実にも努めている。2006年には、2か所目の高齢者介護施設となる「あさひホーム吉作」を開設した。減価償却費の負担や介護スタッフの不足といった課題を抱えるが、業績は今期黒字に転じる見通しである。

同社の林社長は、「介護保険法により介護報酬が一律に定められているため、良いサービスを提供すればするほど採算が厳しくなり、介護職員の給料を大幅に向上させる余裕はないが、利益が出れば職員に還元したい。そして、介護に必要な共感力、協調性、向上心を有する人材の採用・育成に一層力を入れ、利用されるお年寄りが幸せな時間を過ごされるように努めたい。」と話す。



あさひホームでの利用者さんの様子